

1月22日(水)
2020年(令和2年)

高校生 進級につれ実感薄れ

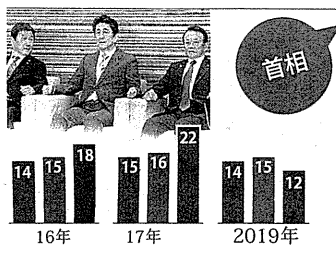
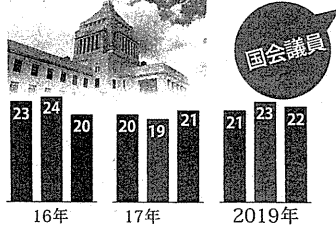
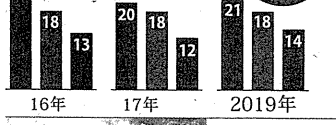
埼玉大学社会調査研究センターは、さいたま市内の高校生を対象に政治意識調査を続けている。18歳選挙権が導入された2016年以降、3回の国政選挙後にそれぞれ実施した調査結果を分析すると、高校生の政治に対する不満の度合いは年を追うごとに低下する一方で、自らの一票が政治を動かすという感覚が上級生になるほど希薄になる様子が浮かんだ。【平林由梨】

さいたままで意識調査

調査は、さいたま市立4高校の生徒を対象に、16年参院選、17年衆院選、19年参院選の各回、政選挙後に実施し、それぞれ948人、1341人、2962人から回答を得た。日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思っか尋ねたところ、19年調査では「国民一人一人」との回答は18%で、最多だった「国会議員」の22%を下回った。学年別にみると、「国民一人一人」の割合は1年生21%、2年生18%、3年生14%と、上級生になるほど低い。16、17年調査でも傾向は同じだ。

日本の政治を動かしているのは？

高校生に聞いた



※埼玉大学社会調査研究センター「高校生の政治意識調査」より

と回答した1年生は25%だったが、2年生になった17年調査では18%に低下した。16年調査で18%だった2年生は、3年生になった17年調査では12%まで落ち込んだ。17年調査で20%だった1年生は、3年生になった19年調査では14%に低下する。松本正生同センター長は「せっかく18歳選挙権が実現したにもかかわらず、肝心の高校3年生に自らの投票が有効という感覚、すなわち「一票のリアリティ」が希薄だ」と指摘する。

安倍1強関心低く

一方、調査では政治に対する

満足度や、政治家への信頼度も尋ねた。現在の政治に「満足(大いに十だいたい)」の割合から「不満足(大いに十や)」の割合を差し引いた「政治満足度」は

16年調査でマイナスの多かったが、17年調査は同10%とマイナス幅が減少。19年調査ではプラスマイナス0%へと変化した。政治家について「信頼できる(とても十ある程度)」の割合から「信頼できない(全く十あまり)」の割合を差し引いた「政治家信頼度」は16年調査でマイナス47%、17年調査で同42%と大幅なマイナスだったが、19年調査では同26%と、こちらも3

回の調査を通じてマイナス幅が大きく縮小した。松本センター長は「ほんの数人で、政治に対する不満も政治家に対する不信感も相当に低下している。1強多弱の安倍政権が長期間にわたって続いている影響かもしれないが、現状の肯定というより、政治を意識すること自体がなくなりつつあるのではないかと、関心の低下を懸念している。

政党名「単なる記号」?

19年調査では、政党の知名度についても調べた。政権与党の「自民党」以外に知っている政党名を自由記述でも書いてもらったところ、自民党と連立政権を組む「公明党」を挙げた生徒が全体の38%に当たる1133人にのぼり、最多となった。長年にわたる与党としての活動が高い知名度につながったようだ。知名度で公明党に続いたのは、19年参院選で初めて国会に議席を得た「NHKから国民を守る党」(930人)で、野党第1党の「立憲民主党」(825人)も25

また、「自民党」以外の政党名を尋ねたにもかかわらず、「自由民主党」と書いた生徒が7% (220人) いた。「自民党」と「自由民主党」が同じ政党だと気がつかず回答したとみられる。

16年になくなった「民主黨」を挙げた生徒も22% (649人) いたほか、14年に解散した「みんなの党」も6% (168人) あった。松本センター長は「高校生にとって、ニュースなどで目や耳にする政党名は単なる記号に過ぎず、実体には思いが及んでいないのではないかと

「自民党」「自由民主党」別と誤解

自民党以外に知っている政党名 (自由記述)

1. 公明党 1133人
2. NHKから国民を守る党 930人
3. 立憲民主党 825人
4. 日本共産党 722人
5. 民主党 649人
6. 日本維新の会 297人 (他に、維新153人、大阪維新の会31人)
7. 社会民主党 272人
8. 自由民主党 220人
9. れいわ新選組 201人
10. みんなの党 168人

語。